

明日に備える 山口市林野火災防御訓練



岐阜市消防本部 山県消防署 副署長 田中さん

3月3日、古城山で山県消防署、本巢消防署、市役所の3者合同で山県市林野火災防御訓練を行いました。この訓練は、消防が広域化されて以降初めて山県市で行われたもので、当日は、はじめみ林道登山道駐車場から、山頂のミニチュア大桑城まで、43本のホースを結合し、放水を行いました。最近、日本各地で山火事が発生しています。山県市でもいつそのような事態になるか分かりません。そこで今回、山県消防署の田中さんに話を聞きました。
TEL 22-0119

訓練の目的は

今回の訓練は、古城山および大桑城跡で火災が発生したことを想定し、入山者の安全確保を図るため、関係機関の緊密な連携や迅速的確な防御活動、避難誘導を行うことを目的に実施しました。

どんな訓練を行いましたか

消防隊員が、駐車場からホースを結合しながら延長して山頂での放水を行い、市役所とは入山者の安全確認や火災の状況などの情報共有を行いました。

実際に山火事が発生すると、ホースでの放水の他、防災ヘリコプターで散水活動をしたり、延焼を防ぐために木の伐採を行ったりします。

栃木県など日本各地で山火事が発生しています。どんなことが主な原因になりますか

春は山菜採りやハイキングなど、多くの人が山を訪れる季節です。そういった際に、たばこのポイ捨てやたき火などの火が原因で山火事になることが考えられます。

岐阜県では毎年3月1日から4月30日までの2カ月間、山火事予防運動を行っています。特に注意して山を楽しんでいただけたらと思います。**気をつけてほしいことは**

この季節は、空気が乾燥したり、



強風が吹いたり気象条件によって思わぬ火災につながる可能性があります。

これは山火事に限ったことではありませんが、火災を防ぐには普段から火の取り扱いに気をつけることが大切になってきます。地震などと同じ、一人一人の注意で防ぐことができる災害です。

山県市の約84%が山林です。大切な自然や文化、そして皆さんの命を守るためにも、山火事が発生しないように、引き続きご理解とご協力をお願いします。

生活困窮者自立相談支援窓口の紹介

生活困窮者自立相談支援窓口では、生活に困窮している人や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活に悩んでいる皆さんへの相談・支援を行っています。

令和3年4月からは、新たに家計改善支援と就労準備支援を開始します。

生活に困ったときは、一人で悩まず相談してください。

☎福祉課 TEL22-6837

支援体制イメージ図

まずは福祉課に
電話してください
TEL22-6837

生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立相談支援窓口(福祉課内)

相談 本人や家族などが来庁し、相談します。

計画 支援員と共に支援計画を立てます。

支援 関係機関と協力して支援します。

住居確保給付金

福祉課 TEL22-6837
求職活動中の人の家賃相当額を支給します。
(収入・資産などの要件、求職活動の報告義務があります)

新規

家計改善支援

山県市社会福祉協議会 TEL52-3010
専門の支援員が、相談者の家計の収支を一緒に見直しながら、安心できる家計を目指します。

新規

就労準備支援

就労支援施設 pasito lodge TEL78-4778
社会に出ることや就労、人とのかかわりに不安がある人に、それぞれの目標に向けた軽作業などのプログラムを用意してサポートします。

- ・子育ての相談
(市子育て支援センターなど)
- ・高齢者の相談
(市地域包括支援センターなど)
- ・障がい者の相談
(市障害者基幹相談支援センターなど)

- ・生活福祉資金貸付
- ・日常生活自立支援事業
金銭管理支援など
- ・フードバンク事業
(山県市社会福祉協議会)

- ・就労訓練
(pasito lodge)
- ・求職活動
(ハローワーク)

- ・成年後見制度利用支援
(山県市成年後見支援センター)
- ・生活保護
(福祉課)